

第2回プロダクトガバナンス有識者会議 ご発言要旨

開催日：2024年10月8日

プロダクトガバナンス有識者会議メンバー（3名）：

野尻 哲史氏	合同会社フィンウェル研究所 代表
藤沢 久美氏	株式会社国際社会経済研究所 理事長
高井 宏章氏	株式会社日本経済新聞社 元編集委員

1. ファンド・レビュー・レポート

レポートの内容、構成について

- 今年のレポートは昨年対比で改善されており、個別ファンドページもより丁寧で読み易い表現になっている。運用体制、会社案内などを載せると、プロダクトガバナンスの位置づけがより分かりやすくなるのではないか。
- 運用方針や運用哲学がファンド毎に記載されていても良いのではないか。特に改善が必要なファンドについて、何が悪かったのかというところを振り返る時に、運用方針や運用哲学に外れているかどうかという点も問題となるはずで、運用実績だけでファンドの評価をするものではない。レポートに直接記載するのではなく Web 上に運用哲学を掲載してリンクを入れるなどの対応でも良い。
- レポートについては、誰に読んでもらいたいのか、狙いは何かという点に関しては、一定の整理がされたと思う。また、既に投資している人やそれらの方にアドバイスをする人にとっては有用なレポートだと思うが、これからファンドを購入しようと思う人にとっては使いやすさなどの観点で改善の余地がある。
例えば、野村アセットマネジメントの各ファンドの Web ページからもレポートを参照できるようにするなど必要ではないか。また、レポート内のリンクを押すと、レポートの PDF が閉じて、リンク先の Web に移動するが、その後にレポートを再度確認することも想定して新たなウインドウで開くようにするなど使い勝手も見直すと良い。
- （野村アセットマネジメントの）[プロダクトガバナンス委員会](#)を傍聴し各ファンドについて詳細に分析を行っていることは理解した。その内容がレポートでは伝えられていないので、そういう点が上手く伝えられるようにできると良い。

ファンドの評価方法について

- レポートにおいて、改善が必要と評価したファンドほど、商品組成時にそもそも何を目指したファンドであって、そこから外れていないかというチェックがあっても良いのではないかと思う。商品組成時にベンチマークや参考指数を適切に設定できているか、商品組成時に意図していたファンドとして適切に提供できているかを確認する必要がある。
- 商品性の評価の際に、概算方法による平均保有期間を単独で使うのは、おすすめできない。定量的に数字だけ見ると、含み損があるために売却を保留している結果平均保有期間が長くなっているファンドの評価が良い評価になってしまうことになる。
- 平均保有期間だけではなく、一緒に見ると良い変数があるかもしれない。例えば、つみたての状況やファンド毎に純資産の流入額や販売会社ごとの流入額を見ること、長期の運用実績があって資金の流入があるというのは一つの尺度になるのではないか。
- ファンドの純流入（元本増加）や、元本増減のボラティリティも参考にしてみてもどうか。

2. プロダクトガバナンス活動全般

- 今後は、販売会社との連携がより一層重要になる。想定する顧客属性など適合性を検証するためのデータを運用会社と販売会社で実際にどのように連携していくかが重要になってくる。
- それぞれのファンドについて、どういう人が投資家として適していて、どういう人が適していないと考えているかを明確に示すなど、想定する顧客属性をこれまでよりも更に具体化することも検討してほしい。
- 事前に把握していなかったニーズを持つ顧客層が存在する可能性があるため、想定投資家ではないと考えていた投資家がファンドを保有していても、必ずしも問題があるというわけではない。また、ファンドへの投資が適していないと考えていた投資家層の保有状況のデータがあれば、想定する顧客属性についてさらに深い検討ができると思う。
- 欧州では、プロダクトガバナンスが進むことにより、B to C マーケティングと投資家のファンド保有状況を分析するデータマネジメントがより重要になってきているので、ぜひ参考にしてほしい。
- 運用会社として、販売会社が適合性を判断するのに役立つ情報や考え方を、先んじてもっと出せないのか検討してほしい。

3. プロダクトガバナンス方針について

- （野村アセットマネジメントの）[プロダクトガバナンスに関する方針](#)に（方針 5）「想定するお客様の属性に関する販売会社との連携」という方針を入れていることは良いと思う。
また、それぞれのファンドについて、想定する投資家を販売会社と連携するだけでなく、Web で開示する取組みについても、「想定する投資家」の表現方法などについて様々な意見はあるかもしれないが、開示することは良い取組みだと思う。

以上